

にいかっぷ  
HOKKAIDO NIIKAPPU TOWN

# 議会だより

2024.8.9 / 発行  
No.237

第2回定例会  
第2回・第3回臨時会

## ～ ぶるさとまつり 子どもみそし～

7月13日から14日、にいかっぷぶるさとまつりが行われました。

14日の本祭りでは、各自治会の子どもみそしが氷川神社に集合し、おはらいを受けた後、市街地を練り歩きました。

当日は天候にも恵まれ、元気な子ども達の声が街中に響き渡っていました。

## 主な内容

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 第2回定例会の概要       | ～ P 2  |
| 一般質問／7議員が8件を問う  | ～ P 3  |
| 第2回定例会 補正予算の審議等 | ～ P 10 |
| 第2回臨時会 専決処分の審議等 | ～ P 10 |
| 第3回臨時会 補正予算の審議等 | ～ P 11 |

# 令和6年第2回定例会

令和6年第2回定例会は、6月18日に招集され、休会をはさみ21日まで開かれました。

初日18日は、町長と教育長の行政報告、報告案件3件の受理、辺地に係る総合整備計画の策定及び変更を可決後、令和6年度新冠町一般会計他3会計補正予算の提案理由説明が行われました。

最終日の21日は、7名の議員による8件の一般質問の後、令和6年度一般会計他3会計補正予算などの採決を行いました。

また、発委（委員会提案）による意見書1件と発議（議員提案）による意見書3件を採択し関係機関へ提出することとなりました。



● 第2回定例会の付議事件 ● ※すべて原案のとおり承認・可決。

## 報告第4号

例月出納検査の結果報告

## 報告第5号

有限会社にかっぱホロシリ乗馬クラブの経営状況の報告

## 報告第6号

繰越明許費繰越計算書（令和5年度新冠町一般会計予算繰越明許費繰越計算書）

## 議案第31号

辺地に係る総合整備計画の策定及び変更

## 議案第32号

令和6年度新冠町一般会計補正予算

## 議案第33号

令和6年度新冠町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算

## 議案第34号

令和6年度新冠町介護サービス特別会計事業勘定補正予算

## 議案第35号

令和6年度新冠町立国民健康保険診療所事業特別会計補正予算  
議員派遣の件

## 発委第1号

新冠町議会委員会条例の一部を改正する条例

## 発委第2号

新冠町議会会議規則の一部を改正する規則

## 発委第3号

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出

## 発議第1号

生涯を通じた歯科健診の実現をもとめる意見書の提出

## 発議第2号

道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改正版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

## 発議第3号

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

## 会議案第4号

閉会中の継続調査（総務産業・社会文教・議会広報常任委員会）

## 会議案第5号

閉会中の継続調査（議会運営委員会）

※すべての付議事件について、全員賛成で原案承認・可決。

# 一般質問

## 町政のここが聞きたい

【一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することです。】  
第2回定例会での一般質問を、質問と答弁内容を要約してお知らせします。  
詳しく知りたい方は、町ホームページ、議会事務局およびし・コード館図書プラザで閲覧できます。



武藤 勝因 議員

### 消滅可能性自治体

**問 非正規公務員の待遇改善と  
福祉増進施策が大事では**

**答 職員の待遇は随時改善  
住みたいまちづくりを目指す**

武藤議員

①今、「(※)消滅可能性自治体」の発表が論議を呼んでいる。これについての率直な考えは。

②様々な方面からの検証は必要と思うが、当町では、学校・保育所の統廃合についてはどうだったのか、現時点での検証・評価は。

③今後のまちづくりだが、若い人たちが誇りをもって、生き生きと働ける環境づくりが今後の日本・新冠のあり方を左右すると思うが、当町では、(※)会計年度任用職員の待遇改善が大きな課題では。

④地方自治の本旨に基づくまちづくりも求められている。町民の福祉の増進のための施策の実現が求められており、子どもの医療費、高校生までの無料化の実現は。

鳴海町長

①公表数値をしつかり分析し、将来の町民により良いまちづくりを継承していくことが人口減少対策と考え、これまで同様まちづくりに邁進する。

②学校・保育所の統廃合は、教育環境の維持と向上を念頭に、規模や配置の適正化を目的に進めてきたもので、統合は正しかったと判断している。

③会計年度任用職員の処遇については、令和2年度に国の非常勤職員の規定に沿って改正しており、給料表や期末手当の支給率を正規の常勤職員と同一にするなど、従前と比べて、大幅に改善が図られている。

④住民サービスの向上を図ることが、自治体に求められる最大の責務と常に意識し、福祉や医療、産業、観光、教育、文化など町政各般にわたる施策について、町議会での審議をいたしながら実施している。まちづくりの方向性、手法については町民、議会とともに推進する。

※消滅可能性自治体とは、民間組織の「人口戦略会議」が公表したデータによるもの。

消滅可能性自治体の定義は、2050年までに子どもを産む中心の世代となる20歳から39歳の女性「半数以下」となる自治体のこと。将来人口が減少し消滅する可能性があるとされている。

※会計年度任用職員とは、従来の臨時職員（パート職員含む）のこと。現在は、地方公務員法が適用される一般職の地方公務員。

指定管理鳥獣

# 問 ヒグマの対策強化と 補助金活用を

## 答 地元猟友会と協議検討する



酒井 益幸  
さかい ますゆき  
議員

酒井議員

道内におけるヒグマの目撃が増加し、人や家畜に被害が相次いでいる。道の資料では、昭和37年から令和2年3月末までの58年間に148人が被害を受けており、そのうち52人が亡くなっている。被害者の活動別で最も多いのは、狩猟や許可捕獲の際に逆襲にあったのが60人で40・5%。狩猟以外の被害で最も多いのは、山菜やキノコ採りの際に発生したのが38人で25・7%。道内の令和5年出沒に関する通報件数は、4055件と前年の約2倍となった。

環境省は、令和6年4月クマ類を指定管理鳥獣に指定した。市町村がヒグマ対策を行う際、交付金の形で国から一定の支援が受けられるが、これまで以上の対策が必要であり、課題解決を行う考えについて4点伺う。

- ①トレイルカメラを設置し調査する考えは。
- ②人や家畜とのすみ分け対策を強化するべきでは。
- ③市街地のごみ出し・家庭菜園など注意点を明確にし、対策を強化しては。
- ④市街地付近の出沒時、防災スピーカーを活用しては。

鳴海町長

指定管理鳥獣とは、集中的・広域的に管理が必要な鳥獣で、国の基本的な概念やガイドラインのもと管理される。町は鳥獣被害防止計画を策定し、ヒグマに関しては、繰り返し出沒や人身事故の恐れがある個体のみを捕獲している。

①個体数調査は道が実施し、推定生息数は、当町が含まれる夕張・日高ゾーンは、平成2年と比べて令和4年は4460頭と約2・6倍。現在トレイルカメラを10台保有しており、目撃情報の地点に設置、生態把握などを行っている。

②市街地、市街地周辺、農耕地、森林など地域区分設定が有効だが、当町は市街地付近にも農耕地や森林が混在し、草刈りなどで対応しているが、すみ分けを完全に行うことは困難と考える。

③生ごみや家庭菜園の野菜や果実の放置がクマを誘引し、繰り返し出沒する問題個体となる。生ごみの排出を収集の直前に行うことや食害されない保管など取り組み強化が重要と考え、市街地に引き寄せないよう情報発信を強化する。

④令和4年、新冠橋に親子熊が出沒した際、防災スピーカーを活用した実績はあるが、本来の目的は大津波や河川氾濫、ミサイル発射

酒井議員

札幌市は、ゾーニング管理を市街地、市街地付近、都市近郊林、森林の4つに分けて進めている。ヒグマの習性は、警戒心が強く薄暗いやぶを移動するが対策を3点伺う。

①6月の市街地出沒を教訓とし、ゾーニング管理で近づかせよう距離を保つことは重要である。民有林も含め西泊津・市街地付近のやぶを減らす対策は。

②名寄市のドローン活用は、カメラによる移動個体の把握、音による追い払い、出沒に対する周知を行っているが、過去の提言を踏まえドローン活用の検討結果は。

③クマハンターの平均年齢は65歳を超えており、若手ハンターの確保が喫緊の課題である。20人程度嘱しているが実働は5人程度。今後の担い手育成や支援の考えは。

鳴海町長

①市街地のゾーニングは難しいと考ええる。東町や西泊津地区の林地は、軟弱地質の天然民有林が多く存在し、山腹崩壊という側面もあることから、ソフト対策を強化する。

## 第2回定例会一般質問

②ドローンの活用実績は、令和4年、市街地付近の出没に使用実績があり、海岸や河川上空を操作範囲としたが、草などの障害物により、個体把握に至らなかった経緯がある。また、警察や猟友会との連携などに検討課題もあった。近況では「朝日の森」に開設準備中のドローン事業者において、赤外線カメラを搭載したクマ捜索事業をメニュー化しているとの情報を得ているので、猟友会と協議し活用について検討を進める。

③担い手支援は、狩猟免許取得費用の全額補助と猟銃購入費用の一部助成を継続していく。育成は、猟友会に頼っているのが事実であり、町が指導することは無理があると認識する。公的な実動組織を自治体連携で取り組むことに対して、道の支援体制の整備を注視し、担い手確保に努めていく。

### 酒井議員

①大型個体の解体作業は、3時間程掛かり負担が大きい。労力軽減を支援する考えは。

②大型檻は、町職員がトラックで運搬し、設置場所付近の農家にトラクターでの設置を依頼している。当町がユニックを装備したトラックを購入するほうが、時短や効率のメリットはあると思うが。

### 鳴海町長

①捕獲したヒグマの解体作業も含めハンターに委託しており、複数人での解体や1人で解体をしていることは承知している。解体後、処理場までは町職員が運搬しているが、解体の軽減策として町に何ができるか、猟友会と意見交換したい。

②大型檻の場合は、トラックとトラクターが必要となり、近隣農家の協力を得て設置している。近年の移動件数は、年10数件程度、1件当たり設置まで数日を要している。車両導入によりスムーズな設置も可能となるが、運行に必要な作業免許取得、車両の選択、補助制度の活用も視野に入れ慎重に検討する。

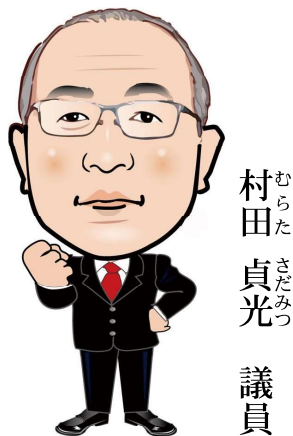


新冠温泉付近で捕獲されたヒグマ（捕獲直前）

## 企業誘致

問 積極的な取り組みを

答 可否を見極め誘致に取り組む



村田 貞光  
議員

### 村田議員

企業誘致は、地域経済を活性化させるための取り組みの一つ。そこで3点伺う。

①新冠町企業誘致条例施行後、直近10年間の実績は。

②新冠町企業誘致条例の中に認定企業とあるが、どのような企業が認定されるのか。

③企業誘致は、町が広告を挙げ宣伝することが必要だと思うが、どのように周知を行っているのか。

### 鳴海町長

企業誘致は、地域の雇用が創出されるなど地域経済の活性化に寄与する。その反面、大規模工場などの進出によって周辺環境に大きな影響を与える可能性もあり、もたらされる町民利益と失われる現状を十分に比較することが必要。

①10年間の実績では、該当する事案は平成27年に稼働を開始した株式会社日高食肉センターの1件。

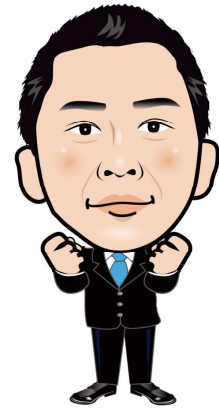
②認定企業の要件は「常時使用する従業員が10人以上であること」また「立地のための投資額が土地取得費を除き2千万円以上」と定めている。

③広告によって企業が進出検討を始めるとは考えられない。企業誘致に係る特別なPRを行う考えはない。

新冠×大学

問 連携協定締結による  
地域指定推薦枠の創設を

答 可能性と必要性を協議し  
理解を深めたい



ながはま けんたろう  
長浜 謙太郎  
議員

長浜議員

昭和音楽大学と室蘭工業大学は、当町との結びつきが強く、いずれも特色があり専門性が高い大学と認識している。これらの大学を含め、課題解決に取り組む地域と学生の接点を築き、より実用的に生かすことは、今後のまちづくりに貢献するものである。

協定締結による恩恵は高校を卒業する生徒だけでなく、関係人口の創出や（※）リカレント・リスキリングといった社会人の学び直しにも繋がり、当町にとっても先々への大きな広がり秘め、大学側にとっても生徒数の確保や知名度の向上、フィールドワークの場としての活用などのメリットがある。

当町は立命館慶祥高等学校と地方創生人材育成制度に関する協定を締結した実績もあるが、自治体と大学の縁を生かした協定に基づく先行事例に倣（なら）い、当町における大学との連携協定締結と地域指定推薦枠創設の可能性について伺う。

※リカレント・リスキリングとは、新しい状況に適応するため、必要な知識やスキルを学び直すこと。

鳴海町長

昭和音楽大学との提携事業の取り組みは、大学側の地域連携推進という方針と当町の音楽によるまちづくりという特徴が合致し、23年間も継続している。

また、現在は法政大学が社会連携事業として、日本のサブプレット産業の現場を考察するという課題を設定し、町内の牧場をフィールドワークとし、軽種馬産業を現場から理解することで大学生が地方創生を考えるカリキュラムを実施する計画にあるなど、新たな取り組みも始まろうとしている。

いずれも大学側からの働きかけから始まっており、そこには知名度アップや地域連携の取り組みが評価に繋がるなどの理由があると思うが、当町にとっても有益な取り組みと考え、共に推進していく。連携事業と地域指定推薦枠、い

ずれにおいても大学側が当町との地域連携をどのように考えるかが大切であり、フィールドワークなどの中から当町にその可能性と必要性を見出した時に協議が始まるものと考えている。

長浜議員

特に昭和音楽大学については、レ・コードと音楽によるまちづくり事業を展開する当町にとって、明文化す

ることの意味は大きいと考える。公立高校配置計画案では、定員割れによる学級減という事態は避けられない様相である。

進学に対して、子どもたち自身の将来についての考え方は当然だが、地域における保護者の意識、学校や先生たちの捉え方、これらに関して今後求められるニーズに自治体推薦枠の創設は、学力向上と夢に向かって頑張るモチベーションに繋がると思う。

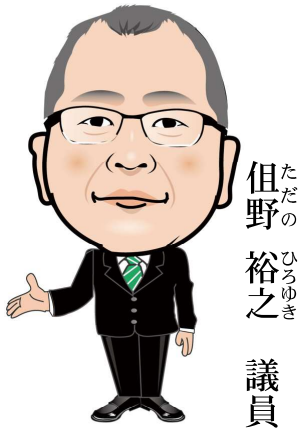
教育現場での実情を含め、教育長の見解を伺う。

奥村教育長

高校生にとって、より魅力のある大学に自治体推薦枠が創設された場合には、地元の意識の向上に繋がる一方で、多くの進学希望者が集まり、自治体で選考が必要となることや出身地による不公平感を生むなど、様々な課題も生じる。

自治体推薦枠の創設については、大学側の意向が大きいと考え、地元の高校への進学や当町における優秀な人材の確保・育成の流れに繋げることができれば、当町にとってもメリットがある。

先進自治体の調査や地元の高校、役場の人事担当課との意見交換を行うなど、大学の自治体推薦枠についての理解を深めたい。



但野 裕之  
たの ひろゆき  
議員

## 防災道の駅

問 防災道の駅への改築は

答 その考えはない

朝日の森で対応

但野議員

津波避難などに対応した国保診療所の改築が先送りになり、市街地住民の津波避難に対する不安が払拭されない結果となった。一方、節婦地区においては、津波避難タワーの建設が決定し、地域住民の安堵の声が多く聞かれる。

市街地の避難所となる冠小体育館は、津波避難に対応できるとしているが、それ以上の物を診療所改築をもって対応しようとしたが、頓挫した結果となった。

(※) 防災道の駅には、耐震化された建物や非常用電源、食料や水などの備蓄、さらに2500㎡以上の駐車スペースが整備される。駐車スペースに関しては、レ・コード館第二駐車場とJR跡地を活用することでクリアできるのでは。

津波避難は、市街地住民にとって喫緊の課題と考える。町長は公約の一つとして、道の駅の改築をあげている。市街地住民の不安払拭のためにも、災害時に避難所や物資の集積地、救助活動の拠点となる防災道の駅への改築を進めるべきでは。

鳴海町長

国保診療所は、改築計画自体を断念したものではなく、診療所の避難所機能についても同様。

防災道の駅の選定要件は、都道府県の地域防災計画などにおいて、広域的な防災拠点に位置づけられ、災害時においても業務実施可能な施設となっていること。道の駅の設置者である市町村と道路管理者の役割分担などが定まった業務継続計画が策定されることとなっている。防災道の駅に選定されたときは、ハード・ソフト両面に対して交付金などの重点的な支援が受けられる。

交付金などの支援は、既存施設の耐震化などに対するものであり、改築建替えや既存施設を2階や3階建て構造への改築は対象外。現状、防災道の駅の目的である広域的な防災拠点を目指す考えはない。

但野議員

①国保診療所と道の駅の改築の優先順位

は。  
②新築への考えは。新築は交付金対象とはならないのか。

鳴海町長

①これまで診療所を優先としている。新たに朝日の森(旧朝日小)を大規模災害時の活動拠点として位置づけ対応する。道の駅を防災拠点として対応する考えはない。

②新築についても交付金の対象となっていない。新築は経営基盤を考え、新冠インターチェンジ開通後(令和7年度開通予定)の人の流れを見て考えたい。

但野議員

冠小の津波に対する不安はないのか。不安があるから、診療所改築に防災機能を持たせたのでは。

鳴海町長

現況において、冠小は安全。試算では、中央町避難者数に十分に対応できる面積もある。

診療所改築は、冠小だけではなく、別の避難所も必要とのことから防災対策を同時に考えた。

※防災道の駅とは、災害時に広域的な復旧・復興活動の拠点となる「道の駅」をいう。

令和2年に認定制度が導入され、国土交通省が当初「防災道の駅」として認定したのは39駅。(令和6年2月現在、道の駅の数は一213駅)

## 相続登記

**問** 周知徹底は十分か

**答** 法務局と連携し積極的に行う

但野議員

亡くなった人から相続した土地の登記「相続登記」が4月1日から義務化された。これまで登記は任意であったが、土地の有効利用を阻む所有者不明土地をこれ以上増加させないためのもの。このことを知らない人は、意外と多いのでは。

まちづくりを進める上で、所有者不明土地は大きな障害になると推察する。これを回避するためにも、十分な周知が必要なのは。立ち入った形になるが、終活の一助として高齢者を中心に町民生活課や保健福祉課などの指導で、周知徹底を図るべきと考えるが。

**鳴海町長** 相続登記の事務は、法務局所管となる。町では札幌法務局の依頼に基づき、広報にいかっぷ令和5年5月号において、義務化に対する準備を呼びかけた。

令和6年4月に義務化となり、6月号において、3年以内の登記申請の必要性について周知した。

また、役場窓口では令和5年度から死亡手続きの際にリーフレットを配付し、必要に応じ口頭説明による制度理解を促す取り組みを行っている。

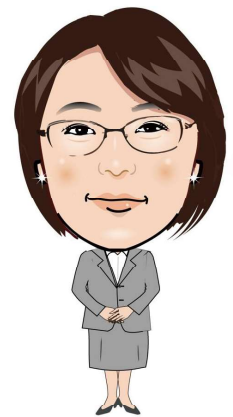
引き続き法務局と連携し、積極的な周知広報を行い町民の理解を深めていく。

※相続により、不動産を取得したことを知ってから、3年以内に相続登記の申請することが義務となった。正当な理由なく義務に違反した場合は、10万円以下の過料が科される場合がある。

## 子育てと介護

**問** ダブルケアに対する支援策は

**答** 策の充実に向けた検討に意を用いる



なかやま  
中山 千鶴子  
議員

**中山議員** 高齢化により介護が必要な人口が増加しており、介護を担う人の負担も大きくなっている。

近年問題となっているのは、子育て中に介護を抱えるケースの増加。子育てと介護に同時に直面することをダブルケアと呼ぶが、全国に30万人以上いると考えられている。

ダブルケアを行う人の9割は30〜40代の働く世代で、主に女性がそれを担っている。子育てと介護を両立させるため仕事を辞める人もおり、多くの人が家計に不安を感じている。

民間会社の調査によると、ダブルケアを行う人が負担に感じることの1位は「精神的負担」、2位が「体力的負担」、3位が「経済的負担」となっている。行政に支援策を期待している人も多い。

当町においても要介護者が増加していることから、ダブルケアに直面している、またはこれから直面するであろう人がいるかと思う。改めて、子育てをしながら介護をしている人のための支援策について伺う。

## 第2回定例会一般質問

鳴海町長

ダブルケアは軽視の  
できない課題の一

つ。直面されている方の負担は大きく、特に子育てよりも介護の負担感が大きいと推察される。

介護保険制度では、個々の状況に応じて、訪問介護や通所介護、施設入所などのサービスを整えている。まずは保健福祉課内に設置されている地域包括支援センターにご相談頂きたい。

子育てに対する負担軽減策として、保育施設などの利用サービスがある。就学前児童の場合は保育所のほか幼稚園、子育て支援センターにおいて一時預かり事業の利用が可能。小学生児童は児童館クラブの利用が可能。サービスに係る利用料は、満3歳以上や低所得世帯の保育利用および児童館クラブの利用は無料。保育所への入所要件として、家族介護を理由に就労できない場合にも利用を可能としている。

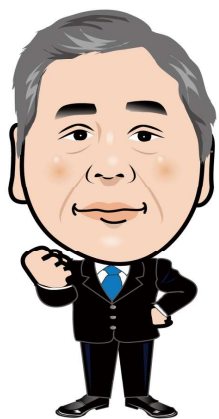
現在は、子育て支援事業計画の策定作業を進めている。支援策の充実に向けた検討に意を用いている。

## サラブレッド大壁画

問 改修や移転は

答 導線の変化を見極め

適切な判断をする



たけなか  
竹中 進一  
しんいち  
議員

竹中議員

国道235号線に設置されているサラブレッド大壁画は、当町の観光名所の代表的存在となっている。過去に改修がされたが、ところどころ色落ちが激しく、再度改修などの手立てが必要と考える。

現在の壁画は冬季間に改修されたため、劣化までの期間が短かったのではないかと。また、周辺の木々が繁茂し通行者が全体を確認できない状況なので思い切った対策が必要。

令和7年度、仮称新冠ICが開通の予定。観光客などの流入増加が期待できるが、国道の利用率が低下する。日高自動車道から確認できる場所への移設や別の広告塔や看板など検討の余地は無いのか。

鳴海町長

サラブレッド大壁画は、当町の観光スポットの一つとなっており、貴重な観光財産と考える。

平成2年に設置され、平成15年、平成27年の2回改修を行っている。平成27年の改修では、壁画を岩盤吹付からパネル貼り付けに設置方法の変更をしたが、以前より色落ちが早いと感じている。

改修の必要性は認識しているが大きな費用を要し、補助制度も無いため町の負担が大きくなる。交

通導線が大きく変わろうとしているため、移転または廃止を含めた多面的な検討が必要であり、一連の変化を見極め適切に判断する。

また、周辺樹木の環境整備は、保安林となっているが、許される範囲で美化に向け努力する。

竹中議員

現在の色落ちしたパネルに簡易的に上塗りなどの方法が可能ではないか。

壁画のデザインも全く新しい発想で、今トレンドとなっている「ウマ娘」を取り入れると観光客受けすることが期待できるのでは。

壁画前の樹木は保安林で許可が必要となっているが、当初は壁画全体を確認できたわけなので、災害時への配慮をしながら思い切った整備を望む。

日高自動車道から確認できる看板などはあまり無いが、道路敷地以外であれば特に規制はない。移転などに向けて検討しては。

鳴海町長

改修費用の大部分が足場の設置費用であることから、改修するならば本格的改修になると考える。

アニメキャラクター活用でのデザイン変更は多くの協議が必要。

サラブレッド大壁画に係る検討は、今後の変化を見極め関係各位の意見を聞き取り進める。

## 第2回定例会・第2回臨時会審議内容

### 第2回定例会

#### 審議内容

#### 補正予算

#### 一般会計

【補正概要】既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4294万2千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ58億1379万2千円とした。

#### ▼新冠町コミュニティバス運営事業(車両購入費用)

現在使用している29人乗り車両に不具合が頻発し、修理を繰り返していることから、14人乗り車両に更新する費用を計上。

516万4千円

#### 酒井議員

①車両を小型化して更新する理由

②導入車両にオゾン発生装置を新たに設置するが、現行車両の装置を移設する考えは。

#### 佐渡企画課長

①令和7年度に14人乗りワゴンタイプへ更新する計画を持っていたが、現行バスの修理に70万円程掛かることから、計画を前倒しして購入する決断をした。

②移設は検討したが、サイズが適合しないため新規に購入する。

#### 酒井議員

乗車定員が減少するが、運行に問題は生じないか。

#### 佐渡企画課長

コミュニティバスは3路線で運行しているが、いずれの路線で運行させても問題はない。

#### ▼伝染病予防接種

新型コロナウイルス定期接種ワクチン費用に対する助成費用を計上。

920万1千円

#### 酒井議員

令和5年度までは複数回接種していたものが、令和6年度からは年1回の接種となった理由は。

#### 島田保健福祉課長

令和5年度までは国の特例臨時接種で、費用も全額国が負担していた。令和6年度からは、定期接種のB類疾病になる。定期接種は自己負担があり、接種回数は年1回と国で定められている。

### 行政報告

#### 鳴海町長 行政報告

◆令和6年度新冠町自治会長会議の開催結果

◆朝日の森の供用開始

◆JR用地取得手続きの状況

◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化

◆令和5年度新冠町住民税非課税世帯臨時特別給付金事業等の支給結果

◆新冠町老人憩いの家における灯油漏えい事故

◆日高徳洲会病院の移転改築計画における移転先調査の状況

#### 奥村教育長 教育行政報告

◇小学校統合後の学校の状況

### 第2回臨時会(5月28日)

#### 審議内容

#### 報告第3号

専決処分(損害賠償の和解及び損害賠償の額の決定)

#### 承認第2号

専決処分(新冠町税条例の一部を改正する条例)

#### 承認第3号

専決処分(新冠町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)

#### 承認第4号

専決処分(新冠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

#### 承認第5号

専決処分(令和5年度新冠町一般会計補正予算)

#### 承認第6号

専決処分(令和5年度新冠町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算)

#### 承認第7号

専決処分(令和6年度新冠町簡易水道事業会計補正予算)

#### 承認第8号

専決処分(令和6年度新冠町下水道事業会計補正予算)

#### 議案第30号

令和6年度新冠町一般会計補正予算

※承認第4号は、賛成多数で原案承認。その他は全員賛成で原案承認・可決。

### 第3回臨時会審議内容

#### 専決処分

#### 条例改正

◎新冠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【改正内容】地方税法の改正に伴い、課税限度額の引き上げおよび国保税の軽減判定所得の基準額の見直しに係る条例を改正した。

武藤議員

今回の改正で、後期高齢者の課税限度額が22万円から24万円になったが、影響を受ける世帯数は、

島田保健福祉課長

改正前、限度額に達していた世帯数は32世帯。改正後、限度額に達する世帯数は26世帯。

#### 専決処分

#### 補正予算（令和5年度）

#### 一般会計

【補正概要】既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ881万6千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ59億468万1千円とした。

#### ▼有害鳥獣駆除対策事業

有害鳥獣の捕獲・駆除費、狩猟免許取得費用の助成、箱罠の購入費などに係る経費を計上。今回の補正は、エゾシカの捕獲頭数減少により残滓（ざんし）処理手数料執行残を減額した。

▲35万5千円

酒井議員

①捕獲実績は。  
②捕獲頭数が減少した要因は。

鷹皆産業課長

①当初捕獲予定頭数2310頭に  
対し、実績頭数は2188頭。  
②気候状況などにより捕獲頭数は  
増減する。

#### ▽町有牛優良受精卵売払収入

町有牛から優良受精卵を採取し、生産者に販売する収入を計上。今回の補正は、実績に基づき予算を減額した。

▲47万3千円

竹中議員

販売実績は。  
湊牧野所長

当初60個の販売を見込み、実績は25個の販売にとどまった。これは、牧野で発生しているヨーネ病の関係で、受精卵を採取できなかったことが原因。

#### 補正予算（令和6年度）

#### 一般会計

【補正概要】既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ385万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ56億7085万円とした。

#### ▼テレビ共同受信施設整備事業

新和地区テレビ共同受信施設の更新に係る工事設計委託料を計上。

385万円

酒井議員

中継局で受信した電波を、光ケーブルを使用し各戸に送信する計画だが、光ケーブルではなく、電波を使用する方法は考えなかったのか。

佐渡企画課長

地域は電波が届かないことによつて難視聴の問題が生じている。十分調査した上で整備を進めている。

#### 第3回臨時会（7月1日） 審議内容

議案第36号

新冠国保診療所自動消火設備設置工事請負契約の締結

議案第37号

令和6年度新冠町一般会計補正予算

※すべての付議事件について、全員賛成で原案可決。

#### 議会動画配信開始

令和5年第4回定例会より、議会の情報を速やかにお伝えするため、本会議と一部委員会のインターネット配信（YouTube配信）を始めました。

以下のサイトからご覧いただけます。

(<https://www.youtube.com/@nikappucho-gikai>)



議会動画配信サイト

## 『こころ』～ 根拠のある支援の必要性 ～

☆有料老人ホームおうるの郷新冠 <sup>ふくし てつや</sup> 福司 哲也 さん☆



今年でおうるの郷に務めてから11年になります。出身は厚賀町ですが、祖母が新冠町に住んでいることもあり、新冠町は幼少の頃からとても馴染みのある町でした。そのような町で働けることをとても嬉しく思っております。

おうるの郷は「質の高いサービスの提供」「何があっても人の尊厳を守る」「人として普通に生きる姿を支える」を施設の理念として掲げております。これらの理念は提供するサービスの道標（みちしるべ）であり、根拠ある介護を行うことが重要となります。

その為にも利用される方々のこれまでの生活を知り、想いを尊重、想いに寄り添った支援を多職種と実現に向けて取り組んで参ります。

「人生の延長線上」である施設での暮らしがより良いものでありますよう、これからもお手伝いさせていただけたらと存じます。

議会  
長  
氏  
家  
良  
美

発行責任者

議員  
員  
武  
田  
修  
一

委員  
員  
長  
中  
山  
謙  
太郎

副委員長  
但  
野  
裕  
之

委員  
員  
長  
酒  
井  
益  
幸

議会広報常任委員会

今号のあとがき担当

酒井 益幸

子どもまんなか社会を目指しているが、日本大学の末富芳（すえとみ かおり）教授は、「子どもが安心して過ごせる場がもっとも増えていくこと」「大人と子どもが対話する社会」と強調している。

ふるさとに想いを馳せるとき、日頃の「感謝」「努力」「賑わい」は極めて大切だと思う。賑わいには繁栄の意味もあるが、未来は子ども達が主役となり、郷土を想いながら栄えていくのは何より嬉しく尊い。

「にいかつぷふるさとまつり」は天候に恵まれ、祭り会場も線路を撤去するなど、改良工事を加えてリニューアルされた。催し物やキッチンカーなど大盛況であった。特に子ども達は、2日間最高に楽しんでいただろう。

あとがき

Topics

議会の話題

### ～ 早来学園を視察 ～

7月3日、前日に行われた全道議員研修の帰路、安平町立早来学園を視察して参りました。

ここは、胆振東部地震からの学校再建という「ピンチ」を、魅力ある子育て・教育の町を目指す「チャンス」と捉え、時代の変化を見据えて令和5年に誕生した義務教育学校です。1年生（小1）から9年生（中3）までが一緒に学ぶ学校は、地域にも開かれており、開放的で洗練された造りも相まって近未来の雰囲気が漂っておりました。

「町の未来は“教育”がつくる。“教育”でつくる。」を実践し、社会人口増で注目を浴びる安平町へ赴き、議員各々が五感で得たものを新冠のまちづくりに生かして参ります。



早来学園について説明を受けている様子

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】